

中山の地は建立しつゝとを月唐ハ石碑は俗
姓秋田平氏とありち中に樺の名あり
月唐常州麻涌よりハ枝の樺をとりて
持来け地は植るゝと云傳へり接續しつゝ
なり——を辛火災の^{ころ}焼付れとも又肆
出て繁茂す其安二年唐日氏の出付よ中ふ
所沃ハ大山寺妙院領とあり領をの著提所
を心光寺といふ^澤宗新禱所を法護山院
寺といふ

賢曰上郡ちのちの字張るんを上郡ハる方

の伝由なり平人の伝をり所はす

一山寺

其安二年山寺出入の出付に流籠十八坊あり
て領地に村はありと見へり今親者堂五
古記と見へり是は付くも流籠なりつゝは
や古人は鐸傳れたる事記する人なし山村
は其上へ上りの歌馬傳るあり志村氏河内
の地を領せしれ——地形を伝へるも
お傳は記も上河内川の南はあり——河ハ
河内より大洲村（色押切村）より鴨川を